

2022年度第3回教育イノベーション大会運営委員会議事録

I. 日 時 令和5年3月6日(月) 14:00~16:00

場 所 Zoom 会議室

II. 出席者 向殿委員長、二瓶委員、井川委員、松山委員、望月委員、今泉委員、浜委員、
阿部委員、原田委員、寺田委員、藤本委員、尾崎トバ伊^ダ、木村トバ伊^ダ
事務局：井端事務局長、野本

III. 検討事項

1. アンケートを含め、委員から今年度開催の振り返りを行った。

- ・ 全体的に各講演の時間が短い印象を持った。
- ・ オンラインのため、一体感に乏しく質問が出にくいことから個別の意見交換対応を設定しても良いのではないか。
- ・ メンタルヘルスの分科会を設置したが、分科会に参加した人には要望があった。
- ・ スタートアップの事例紹介では、参加者との意見交換が十分できず、結果的に3名が多かったように感じた。
- ・ 質問者は同じ人になり、オンライン運営の難しさを感じた。
- ・ アナリティクスの分科会は、講演者3名の説明トーンが違い、まとまらない印象を受けた。
- ・ データサイエンスは、多くの事例を聞きたいのではないか。
- ・ 三日目は、発表者との事後連携や、順番で分野が馴染まないところがあった。
- ・ 質疑は、ブレイクアウトルームの利用を考えてはどうか。
- ・ 著作権は継続の必要があり、学生の利用についても説明が欲しい。
- ・ プログラム構成は、断られた講演もあり苦勞したが、それなりに実施できたと考える。
- ・ 分科会は、講演者2名で意見交換の時間を設定してはどうか。
- ・ 多様性はあると感じた。臨場感の問題は工夫の可能性はある。
- ・ 開催は、8月の希望もあるが、発表会を行うことにしている。また、費用面の問題もあり、オンラインを継続して、余裕を持たせる工夫など検討したい。
- ・ チャットの質問案は、別途チャットを選ぶ担当も付ける必要がある。
- ・ 分科会は、司会を入れて、パネルディスカッション形式や、ブレイクアウトルームでのグループ討議など検討してはどうか。
- ・ 参加人数の減少は、紙での要項配付中止も要因として考えられるのではないか。

2. 三日目発表者募集要項の検討

- ・ 開催要項案をもとに検討し、発表内容に関して、社会貢献、エンロールマネジメント、VRなどの追加意見があり、VR・ARなどを活用した教育、社会人の学び直し教育の項目を追加することで、開催要項が確認された。